

事業報告書

1. 事業名
遺伝子組換え実験安全研修会
2. 事業目的
文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。
3. 開催期間
平成23年7月2日（土）10時00分～17時00分
4. 開催場所
学術総合センター 中会議場（東京都）
5. 主催
全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催
国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催
6. 後援
文部科学省
7. 参加機関
国立大学法人 32校、公私立大学16校、独法・国立研究所25機関、
民間研究所等10組織 合計83機関 参加者合計117名
8. 事業概要

プログラムにしたがって、参加者は事前登録に基づき、午前中は4つの分科会（テーマ1：遺伝子組換え動物の安全管理－地震などの災害に対する対応、テーマ2：植物の安全管理（カルタヘナ法の適用対象、拡散防止措置等）、テーマ3：微生物の安全管理（拡散防止措置等）、テーマ4：培養細胞使用実験の問題点（拡散防止措置等））に分かれ、各分科会コーディネータの主導の下、各分科会の主要課題を中心に、討議および意見交換を行った。

午後は、開催の挨拶の後、午前に行われた各分科会での討議・意見交換の概要が各分科会コーディネータから説明された。続いて、文部科学省ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室、木村好克室長補佐によるカルタヘナ法の概要ならびに責任及び救済について（名古屋・クアラルンプール補足議定書）および災害等への対応について（カルタヘナ法関連）の説明、事前質問に対する回答を頂いた。引き続き、全体会議として東日本大震災の被害状況と今後の対応についての議論が行われ、各分科会での午前の討議内容や会場からの多数の質問を含め、カルタヘナ法全体にわたる質疑応答や討議・意見交換が活発に行われた。

参加者へのアンケート調査を行った結果、大変有意義な会であり、有用な情報が得られたとのことであった。また、今後もこのような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真

遺伝子組換え生物の拡散防止措置 ～非常時への対応～

■ プログラム

10時00分～12時00分 - 分科会（各分科会に分かれて議論）

テーマ1：遺伝子組換え動物の安全管理 - 地震などの災害に対する対応

テーマ2：植物の安全管理（カルタヘナ法の適用対象、拡散防止措置等）

テーマ3：微生物の安全管理（拡散防止措置等）

テーマ4：培養細胞使用実験の問題点（拡散防止措置等）

13時00分～17時00分 - 全体会議

・パネルディスカッション（分科会での検討事項を中心に）

・挨拶 文部科学省

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会

国立大学法人中国バイオネットワーク連絡会議

・全体会議（テーマ：東日本大震災の被害状況と今後の対応）

・文部科学省への質問と回答

対象者：国公立大学等の遺伝子組換え実験安全管理に関係する方

2011年7月2日（土）

会場：学術総合センター中会議場1～4

〒101-8438 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

・東京メトロ半蔵門線 / 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8出口
・東京メトロ東西線「竹橋」1b出口
徒歩3～5分

お申し込み方法（※参加費無料）

以下の項目をE-mailまたはFAXにて6月24日（金）までにお送り下さい。

- 1) 参加希望の分科会名 / 2) 所属（大学名等） / 3) 氏名 / 4) 郵便番号・住所
/ 5) 電話番号 / 6) 役職 / 7) E-mail アドレス

お問い合わせ／お申し込み先

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野

〒683-8503 鳥取県米子市西町86 TEL：0859-38-6472 FAX：0859-38-6470

E-mail：daigaku.idenshi.kyo@gmail.com

研修会当日のスナップ写真



受付



午前の分科会



午前の分科会



午前の分科会



午後の全体会議



午後の全体会議